



皆さん、こんにちは。夏を満喫していますか？
COVID-19の問題はなかなか治まりませんが、お元気で通訳活動をしていらっしゃる
ことと思います。
WASLI Asia Newsletter vol.2 をお届けします。
先日、NASLI（ネパール）が国会員登録をしました。現在WASLI アジア地域の国会
員は6協会です。今回は、日本手話通訳士協会をご紹介します。

JASLI

（一般社団法人日本手話通訳士協会）

日本手話通訳士協会の活動

1. 2つの団体

日本には、手話通訳に関わる団体が2つあります。

「全国手話通訳問題研究会」と「日本手話通訳士協会」です。

前者は手話や手話通訳などに関心がある人たちの研究・運動団体、
後者は厚生労働大臣が認定した「手話通訳士」資格を持つ人たち
の職能団体です。

両方の団体の会員になることもできます。



会長 鈴木唯美

2. 会員と組織

個人会員は現在2,389名、全国に22支部あります。理事会の下に広報、出版、国
際などの委員会があり、「組織の拡充・強化」「通訳士の質の向上」「情報の共有と
発信」「関係団体との連携」を目標に掲げ、課題に取り組んでいます。

3. 主な活動

士協会では、手話通訳士倫理綱領の理念に基づいて、手話通訳者の技術向上のための
研修や研究を行っています。

4. 活動紹介

各委員会では、外国のろう者や手話通訳者情報の発信、日本手話通訳学会の開催、電
話リレーサービスの手話通訳オペレータを含む手話通訳者の健康問題、学習教材の作
成、政見放送の通訳など専門性を高めるための研修を企画しています。

5. 最近の活動

①コロナ禍における活動

コロナウイルス感染拡大により、定例総会、日本手話通訳学会、研修会など、ほとんどの活動をオンラインで実施しています。

2021 年度末には初心者向けの『Zoom 講座』をオンラインで開催しました。

②IT 化

創立 31 年を迎え、時代の流れに合った運営を目指し、機関紙の電子化や会計管理システムの導入を始めています。

③関係団体との連携

全日本ろうあ連盟などの関係団体と連携し、政党候補者のテレビ演説の手話通訳、世界ろう連盟や世界手話通訳者協会の情報の発信、手話言語法などの制定に向けて活動しています。

手話通訳者の研修カリキュラム・教材作成や研修会への講師派遣、手話通訳者の養成にも取り組んでいます。

2021 年には、政党候補者がテレビ演説中にふざけて手話通訳者に近づき、業務を妨害するような行為がありました。それに対し、全日本ろうあ連盟、全国手話通訳問題研究会、本協会は、手話通訳者が安心して通訳ができる環境と、耳が聞こえない・聞こえづらい人の参政権保障を求める声明を出しました。

6. 今後の課題

①手話通訳士の国家資格化

手話通訳者の高齢化、手話通訳士試験の低い合格率（10%前後）、手話通訳者の非正規雇用など身分保障、労働環境の改善が課題です。

現在、手話通訳技能認定試験は、厚生労働大臣の認定で実施されていますが、国家資格ではありません。今後、手話通訳士のステータス向上を目指すとともに政見放送や学会の専門的なスキルをもつ手話通訳者の認定資格を新たに設けることを目指しています。

②さらなる手話通訳保障のために

2022 年 5 月 19 日、日本で「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」が成立しました。

手話通訳依頼の増加に対応できるように、手話通訳者の確保、資質向上、労働環境の整備、身分保障の充実に向けて引き続き活動していきます。

WASLI Asiaは、ろう者通訳者のためのワークショップを開催します。

"チーム通訳ワークショップ"

2022年9月3日～4日 15:00-17:00 (バンコク時間) .



WASLI ASIA official
Facebook

